

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 507 号	氏名	玉田 陽子
学位審査委員	主 査	中尾 一彦	
	副 査	永山 雄二	
	副 査	江口 晋	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、本邦に於いてB型急性肝炎の原因となった Hepatitis B Virus (HBV) の genotype ならびに subgenotype の経年的変化を地域別に検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 1991年～2009年間の全国28国立病院におけるB型急性肝炎547例を対象とし、患者血清よりHBVDNAを抽出し、HBV genotypeを決定後、genotype A、Bに関してはpreS1/S2/S領域の遺伝子配列から分子系統樹を作成しsubgenotypeを決定しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、1997年以降、本邦に於いて欧米型とされるsubgenotype A2型のHBV感染が首都圏から他の地域へと拡大していること、A2型HBVのB型急性肝炎は4%の頻度で慢性化すること、さらに同一の塩基配列を持つA2型HBV感染が蔓延していることが明らかとなった。 これらの研究成果は、本邦における今後のB型急性肝炎予防対策の貴重な礎になると考えられる。</p> <p>以上のように本論文はB型急性肝炎研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			